

セブリティ・ミレニアムによる日本一周クルーズ(その 3)

事務局長 池田良穂

4 日目 釜山港には朝 6 時に到着した。港内には巨大なコンテナターミナルが広がっており、中小型のコンテナ船がたくさん荷役中だった。巨大コンテナ船が見えないのは、大型船は釜山新港を利用するようになったためだ。「セブリティ・ミレニアム」が着岸したのは釜山駅に近い国際旅客ターミナル。続いて、下関からの国際フェリー「はまゆう」が入港してきて着岸した。

下船して、南浦にあるロッテデパートの屋上から港を一望し、近くを散策してから帰船。船は 14 時に釜山港を出港した。港にかかる橋の下を通過すると、影山のクルーズターミナルが右手に見え「MSC スプレンドィダ」が入港していた。台風の影響でスケジュールを変えて釜山に寄港したとのこと。

出港後、赤井先生のグループのミーティングに参加させてもらい聴講。

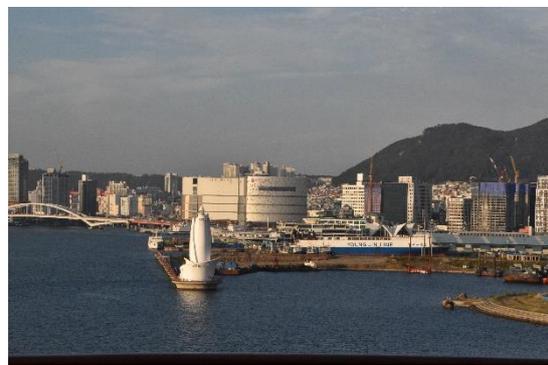
この日の夕食が最後の夕食となるので、スペシャルレストランで食べることにした。毎晩のメインダイニングルームでの夕食でも十分に満足していたが、デッキ 11 にあるクイジーヌではプロジェクション・マッピングを使った 3D ショー「ル・プチ・シェフ」が新しく始まったとのことで一度試してみることにした。有志 10 人で大きなテーブルを囲んだが、一品ごとに趣向を凝らした演出に歓声が上がり、料理も美味しかった。カバーチャージは 55 ドルと結構高めだった。



中小型コンテナ船が並ぶ釜山港のコンテナターミナル。



入港する下関～釜山航路の「はまゆう」



船上からの撮影で、手前は造成中の公園。背後に旧国際フェリーターミナルとロッテデパートが見える。



ロッテデパート屋上から見た国際客船ターミナル全景。



ロッテデパートの屋上から停泊する「セブリティ・ミレニアム」を望む。



係船される手前のフェリーは、元のヤスタ・オーシャンベッセルの「シーバード」(長崎～串木野)。



「セブリティ・ミレニアム」船上から国際フェリー乗り場を一望。手前の大型船は高速カーフェリー「ブルー・ツシマ」。



影山のクルーズターミナルには「MSC スプレディダ」が着岸していた。



釜山のパイロットボート。



特別レストラン「クイジーヌ」でテーブルを囲んだ研修クルーズ参加者の有志。



プロジェクション・マッピングでテーブルが一気に華やかに。



プチ・シェフがテーブル上に登場。



食事の最後にはテーブルに花火が!!



メイン料理。



この日のショーは、元オリンピック金メダリストによるダイナミックなアクロバットショーだった。



デザート

5日目 朝9時過ぎに船は舞鶴湾に入った。船首の乗組員区画のヘリポートが解放されて、ダイナミックな入港シーンを楽しむことができた。

「セレブリティ・ミレニアム」は、夜に舞鶴を出港し、金沢、秋田、青森と寄港して、10月2日に横浜に戻るが、筆者は仕事の都合で舞鶴で下船。高速バスで大阪に戻った。





舞鶴港に停泊する「セレブリティ・ミレニアム」

比較のために、改装前の姿も下に掲載する。

